

平成 28 年度

定時総会は 6 月 4 日(土)

役員改選など審議



公益社団法人
宮城県芸術協会
(郵便番号 980-0802)
仙台市青葉区二日町16-1
二日町東急ビル5-B
電話 (022) 261-7055
FAX (022) 214-5184
E-mail:miyagi-geikyo@sunny.ocn.ne.jp
発行者 大場 尚 文

題号の背後にある芸協のシンボルマーク「雲」は、様々な分野の芸術家達がふんわり集まり、巻雲のように盛り上がりつつ纏まった姿を表す。創設当初の理事安倍郁二氏によるデザイン。

当協会の平成 28 年度定時総会は、6 月 4 日午後 2 時 10 分から、仙台市青葉区五橋の仙台市福祉プラザで開かれる。総会では、平成 27 年度の事業報告及び決算、役員改選が主な議題。28 年度の事業計画と収支予算は、理事会の議決案件のため報告事項となる。

宮城県芸術協会の 28 年度の活動骨子は、芸術文化の新たな価値の創造と次世代へ繋ぐための魅力ある協会の構築を志向。会員はもとより、多くの県民を魅了し続ける強い求心力をもった団体を目指し、各事業の充実を図ることとしている。

主要事業である第 53 回宮城県芸術祭は、当協会を中心とする関係 7 団体の共催により 9 月 23 日の開会式から 11 月 24 日の表彰式を経て、来年 3 月 19 日のピアノコンクール本選までの期間、各部が諸事業を展開する。

芸術祭以外では、芸術文化の振興に関する各種事業として、鑑賞機会提供事業・伝統文化体験事業・人材育成事業などが展開する。収入面では 95 人の新入会員（4 月当初の新入会員は 81 人）を前提としており、引き続き新規会員の入会促進が求められる。支出面では、芸術祭展示部

開かれ、国内および海外との芸術文化の交流や会員の資質向上に資する事業も例年どおり行われる。予算編成に当たっては、公益目的事業の収支がマイナスまたはゼロとしなければならないとする「収支相償の原則」に基づき、マイナス四十一万八千円余、公益目的事業に関わる事業費用の比率が全体の 50% 以上とする公益目的事業比率を 68% とし、いずれも公益法人としての財務基準を満たしている。

新たにガラコンサート実施

ピアノコンクールのフォロワー

昨年度から宮城県芸術祭の一環となり、参加対象を高校生まで拡大した第 36 回ピアノコンクールは、2 月 14 日に予選、3 月 20 日に本選が行われた（4 面に関連記事）。本選の結果を受けて、9 月 17 日に日立システムズホール仙台でガラコンサート V O L ・ 1 が開催される。ガラコンサートは、ピアノコンクールに対する応募者への魅力を高め、受賞者へのアフター・フォロー事業として行う。音楽家の登竜門としてコンクールの質の向上を図るため、平成 28 年度から新たに芸術祭事業に組み込まれた。

今回の出演者は、ピアノコンクール受賞者の中から審査員の推薦を受けた初級 A の高橋都羽・橋本果怜、初級 B の長谷川柚紀、中級 A の安達野々花・永倉梨帆、中級 B の橋本由菜、上級 A の田村実子・高瀬彩音・前川直央、上級 B の池田和音の 10 人など。

5 月 10 日までに演奏曲目などが事務局に報告される。ガラコンサートでは、これらの出演者による演奏のほか、過去のピアノコンクールの受賞者で、現在音楽界で活躍している演奏家による記念演奏も計画されている。

高野ムツオ氏が記念講演

本協会の平成二十八年度定時総会で、恒例の記念講演は本協会芸芸部運営委員（俳句）の高野ムツオ氏が務める。演題は「震災と俳句」の予定。

高野氏は多賀城市在住で、俳誌「小熊座」主宰。二〇一一年三月十一日の東日本大震災を詠んだ第 5 句集「萬の翅」を、翌一二年に発表し、一四年の第 48 回蛇笏賞を受賞した。

この年には第 65 回読売文学賞、第 6 回小野市詩歌文学賞も受賞。「トリプル受賞」が大きな話題となった。

門の芸術祭賞、公募部門の芸術協会賞の賞金がそれぞれ引き下げられるほか、管理費でも大幅な経費節減が図られている。

賛助会員に9団体4個人 正会員入会も81人に増加

3月18日の平成27年度第4回理事会では平成28年度新入会員として、各部の運営委員会から推薦された81人が正会員として承認された。昨年初の新入会員は75人で、6人の増加となった。また、賛助会員については、

これまでに入会申し込みのあった9団体・4個人の入会が承認された。賛助会員の入会は、実に8年ぶりとなる。

昨年5月の定時総会で、平成27年度は芸協の総力を挙げて正会員及び賛助会員の拡大に取り組みることが決議された。これを踏まえ、この一年、役員、各部一体となつて課題の実現に当たつてきた成果があらわれる結果となった。正会員の拡大については、昨年7月3日の第1回部長会議で、過去10年間の部門ごとの会員数の推移や現会員の年齢構成など、各部の会員に関するデータが具体的に示された。こうした状況を踏まえ、各部で会員数減少への対応などが検討された。

また、8月7日の第2回理事会でも正会員・賛助会員の拡大について協議され、役員と各部との課題の共有が図られた。

12月4日の第2回部長会議では各部から第1回会議の課題について、展示、舞台、伝統文化、文芸の各部門で事情が異なるなか、さまざま工夫を凝らしながら会員の拡大に努めている様子が具体的に報告された。

賛助会員は、昭和53年の100人をピークに年々減少

河北文化賞受賞の土屋瑞穂参事、名誉会員に

平成28年度第1回理事会で名誉会員の推薦について審議され、1月に河北文化賞を受賞した彫刻部の土屋瑞穂参事が名誉会員に推薦された。これを受けて理事長が打診、本人の承諾で、名誉会員就任が決まった。

法人運営規程第7条では、第1項で「理事長は、この法人の運営及び芸術文化の振興に顕著

し、現在は21人。平成21年以降は入会ゼロが続いていた。10月に芸協を紹介するパンフレットを作成。理事長、執行理事などが積極的に企業や店舗などを訪れて賛助会員入会をお願いし、入会者の大幅増に結びつけた。

印章管理規程を改正

4月22日の平成28年度第1回理事会で、印章管理規程が改正され、当協会の印章として「銀行印」が追加された。

当協会には銀行や郵便局との取引に使われる銀行印がなく、法務局に届け出の「法人印」で代用していた。今回印章管理の適正化を図るため、規程を改正し、銀行印を新調した。

部長・副部長の就任

4月1日付で就任した各部の部長、副部長は次のとおり。原則として任期は2年となる。

〔敬称略〕◎ 〓 部長 〓 副部長

- 〔絵画部〕 ◎ 及川英之、〓 庄子 幸一、〓 森真澄〔彫刻部〕 ◎ 大槻俊之、〓 阿部弘子、〓 小関俊夫〔工芸部〕 ◎ 近藤孝則、〓 安藤令子〔書道部〕 ◎ 千葉蒼玄、〓 太田蓮紅、〓 建部恭子〔華道部〕 ◎ 丹野霞園、〓 及川光富、〓 三浦景舟〔洋楽部〕 ◎ 熊井雅美、〓 八島秀、〓 渡邊直道〔邦楽部〕 ◎ 杵屋和加喜久、〓 大友 輝一 眞部 吾妻克美、梅津聡、中村 輝一

◆新運営委員 (敬称略)

- 藤淑子〔舞踊部〕 ◎ 高橋厚子〔茶道部〕 ◎ 鎌田宗節、〓 菅原宗玉
- 〔写真部〕 ◎ 落合英俊、〓 加藤友一、〓 関敏彦、〓 山本かつい

今年には仙台で絵画・写真展 大邱との国際交流

韓国芸術団体総連合会大邱広域市連合会(大邱芸総)との交流事業は、「仙台・大邱交流絵画・書道展」として、7月21日から26日までせんだいメディアアテークで開催され、両団体の芸術家による作品が展示される。この事業は芸協と大邱芸総が芸術交流により相互の芸術活動の発展を図るとともに、県民に海外の優れた作品の鑑賞機会を提供することを目的として平成7年から実施している。2年ごとに締結する協定書にもとづき、展示芸術と公演芸術の交流を仙台市と大邱広域市で交互に実施。昨年は10月に大場尚文理事長を団長に出品者など12人が訪韓し、大邱文化芸術会館で絵画・写真展が開催された。大邱からの訪問団は7月20日に来仙する。

私たちは芸術協会を
応援します

新賛助会員

(団体)

◆株式会社青葉画荘

代表取締役 伊藤 奨 様

◆医療法人社団 初心会

理事長 鹿野 英生 様

◆株式会社飛梅

代表取締役 松野 勝生 様

◆株式会社日産サテイト宮城

代表取締役 近江 克視 様

◆ギャラリー専

代表取締役 菊地 宏 様

◆ネットトヨタ仙台株式会社

代表取締役 野萱 和夫 様

◆ネットトヨタ宮城株式会社

代表取締役 後藤 誠 様

◆宮城トヨタ自動車株式会社

代表取締役 後藤 誠 様

◆宮城日産自動車株式会社

代表取締役 渡邊 芳博 様

(個人)

◆愛知 絢子 様

◆辻 直 様 (東龍門)

◆西井 陽子 様

◆畑山 みさ子 様

平成 28 年度新入会員 (正会員) 名簿

部 門	氏 名(本 名)	住 所	部 門	氏 名(本 名)	住 所
【絵画部】				大 和 愛 香 (愛季)	大崎市
〈日本画〉	數 本 冴英佳	仙台市泉区		渡 辺 青 瑛 (万紀子)	仙台市宮城野区
〈日本画〉	櫻 井 伸 子	仙台市若林区	【華道部】		
〈日本画〉	柴 田 慶 夫	仙台市泉区	〈草月〉	佐 藤 霞 虹 (広美)	仙台市泉区
〈日本画〉	水 谷 蔦 子	仙台市泉区	〈草月〉	三 浦 霞 音 (みゆき)	仙台市太白区
〈洋画〉	青 山 義 男	仙台市太白区	〈草月〉	横 山 華 苑 (ひろみ)	東京都江東区
〈洋画〉	阿 部 孝	仙台市太白区	〈草月〉	吉 田 陽 霞 (陽子)	仙台市太白区
〈洋画〉	海老塚 せつ子	仙台市若林区	【洋楽部】		
〈洋画〉	大 嶋 貴 明	仙台市若林区		植 木 由利子	仙台市青葉区
〈洋画〉	鎌 田 宮 子	仙台市青葉区		小田島 航 太	仙台市泉区
〈洋画〉	菅 野 正 弘	東京都練馬区		加 藤 新 平	仙台市青葉区
〈洋画〉	菊 地 清 人	仙台市太白区		鎌 倉 重紀子	大崎市
〈洋画〉	来 次 義 治	亶理郡亶理町		鈴 木 麻由子	仙台市宮城野区
〈洋画〉	後 藤 美 佳	栗原市		高 柳 ユミ (八重樫裕子)	遠田郡美里町
〈洋画〉	齋 藤 繁 (助夫)	仙台市泉区	【文芸部】		
〈洋画〉	齋 藤 弘 子	仙台市泉区	〈短歌〉	小 坂 紀 子	仙台市宮城野区
〈洋画〉	櫻 木 廉 子	仙台市青葉区	〈短歌〉	佐 藤 宗 雄	気仙沼市
〈洋画〉	佐 藤 勇	栗原市	〈俳句〉	大 倉 由美子	仙台市青葉区
〈洋画〉	白 崎 康 夫	仙台市泉区	〈俳句〉	岡 本 幸 治	仙台市泉区
〈洋画〉	高 橋 恵 子	栗原市	〈俳句〉	小 松 温 美	多賀城市
〈洋画〉	畠 山 信 行	仙台市太白区	〈俳句〉	佐 野 享 保 (順)	大崎市
〈洋画〉	原 田 喜市郎	仙台市太白区	〈俳句〉	関 三穂子	仙台市太白区
〈洋画〉	松 波 ゆかり (澤ゆかり)	仙台市太白区	〈川柳〉	阿 部 日向子 (陽子)	仙台市青葉区
〈洋画〉	松 本 サチ子	仙台市若林区	〈川柳〉	小 野 正 光	仙台市青葉区
〈洋画〉	山 並 進	角田市	〈散文〉	沢 村 柳 子	仙台市太白区
〈洋画〉	渡 部 順 一	仙台市青葉区	【茶道部】		
【彫刻部】			〈表千家〉	安 藤 宗 風 (直子)	仙台市青葉区
	小 泉 百合子	多賀城市	〈表千家〉	桜 井 宗 美 (涼子)	塩釜市
	中 平 有 紀	仙台市太白区	〈表千家〉	眞 山 宗 洞 (良樹)	名取市
【工芸部】			〈裏千家〉	関 谷 宗 啓 (啓子)	柴田郡大河原町
〈陶芸〉	木 村 八百子	角田市	〈裏千家〉	細 田 宗 倫 (倫子)	刈田郡蔵王町
〈陶芸〉	村 上 朋 子	仙台市青葉区	〈江戸千家〉	小 林 宗 恵 (恵美)	仙台市太白区
〈染織〉	熊 谷 友美恵	大崎市	〈江戸千家〉	星 川 宗 陵 (陵子)	仙台市宮城野区
〈染織〉	古 山 文 子	塩釜市	〈玉川遠州流〉	今 野 宗 古 (義樹)	仙台市太白区
〈金工〉	菅 原 恵美子	仙台市宮城野区	〈玉川遠州流〉	西 城 晋 江 (美江)	仙台市青葉区
【書道部】			【写真部】		
	萱 場 鳳 僊 (琢也)	仙台市宮城野区		井 出 次 女	仙台市宮城野区
	佐 藤 友 恵	仙台市泉区		金 谷 竜 真	仙台市太白区
	庄 子 喜 隆	仙台市宮城野区		鹿 野 和 司	仙台市太白区
	菅 原 清 種	登米市		工 藤 る み	仙台市太白区
	鈴 木 蒼 煌 (建治)	仙台市太白区		齋 藤 洋 春	柴田郡柴田町
	鈴 木 美 賀	仙台市青葉区		佐 藤 崇	仙台市泉区
	建 部 紘 子	多賀城市		庄 司 多賀雄	岩沼市
	船 山 常 松 (直志)	仙台市青葉区		白 旗 成 典	大崎市
	松 永 杏 苑 (京子)	大崎市		八 卷 純 子	仙台市青葉区

絵画部スケッチ研修会
新緑の奥入瀬と小坂鉦山へ
 6月11日(土)・12日(日)



新緑の奥入瀬溪流

今年の絵画部スケッチ研修会は、スケッチに最適な気候の6月中旬、秋田県小坂町と青森県十和田市を訪ねて実施される。初日はルネサンス様式の残る小坂鉦山事務所や国の重要文化財に指定されている康楽館(芝居小屋)、二日目は新緑の奥入瀬溪流でスケッチを堪能する企画。研鑽と親睦を深める研修会で、絵画部以外の参加も受け付ける。参加希望者は芸協事務局まで。

【期日】平成28年6月11日(土)～12日(日)
 【日程】6月11日(土) 8時30分仙台駅東口バスプール集合。12日(日) 18時30分仙台駅東口バスプール解散
 【宿泊地】十和田市「ホテル十和田荘」
 【参加費】26,000円
 【募集人数】40人
 【締め切り】5月20日(金) 定員になり次第終了

5月28日(土)・29日(日)
20回目を記念し盛大に
 杜の都大茶会

仙台の初夏の風物詩として定着し、誰もが気軽に参加できる茶会として市民に親しまれてきた杜の都大茶会が、今年は5月28日(土)と29日(日)に仙台市青葉区の勾当台公園を会場に開催される。当協会と河北新報社の主催で平成8年から続けられ、今年20回目を迎える。流派ごとの日程は次のとおり(雨天催行)。

◇5月28日(土) 表千家、大日本茶道学会、江戸千家、玉川遠州流、煎茶文雅静庵流、煎茶道清泉幽茗流
 ◇5月29日(日) 裏千家、煎茶道三彩流、石州清水流、織田流煎茶道、宗偏流、武者小路千家、遠州流茶道

茶席料は、前売券が2席分1200円、当日券は1席700円、2席分1400円



村井知事も来席した昨年の茶会

芸術祭文学散歩
今年度は群馬県高崎方面

今年度の芸術祭文学散歩は、9月27日(火)・28日(水)の両日、群馬県高崎方面まで足を延ばして実施される。

詳細は7月に発行される次号に掲載することになるが、平成26年に世界遺産に登録された富岡製糸場、歌人土屋文明の業績と生涯を展示する群馬県立土屋文明記念文学館、近代詩史に大きな足跡を残した萩原朔太郎の

資料を公開する前橋文学館などを訪ねる予定。
 今回も内容の充実した文学散歩で、多くの参加が望まれる。

芸文協、北斗40号を発行

東北・北海道芸術文化団体協議会の機関誌「北斗40号」が2月29日付けで発行された。

編集・発行は昨年引き続き山形芸術文化協会の担当。本年の特集テーマは「各県・道の演劇の現状と課題」。当協会からの寄稿文は演劇部の大日琳太郎部長が執筆した

平成の芸術祭賞作品を展示

カメイ美術館との共催絵画展

当協会とカメイ美術館共催の絵画展「選ばれし作品の軌跡―平成の芸術祭賞13年―」が青葉区のカメイ美術館で2月2日から3月13日まで開催された。

珍幸希)のピアノ三重奏によるギャラリートークも開催。会期中の来場者は1,907人上った。

昨年度から続くこの作品展では平成14年度から26年度までの21点の芸術祭賞作品を展示。会期中の2月13日(土)には出品者によるギャラリートーク、3月7日(土)には当協会洋楽部会員(ピアノ・門脇麻美、ヴァイオリン・叶千春、チェロ・明



出品者によるギャラリートーク

みやぎミュージックフェスタ2015 地元音楽団体と交流深める



「みやぎミュージックフェスタ2015 in みさと」が2月28日(日)、美里町文化会館で開かれた(写真)。

プログラムは「吹奏楽・未来への響き」「みさと音楽家と芸術協会会員との饗宴」「オーケストラと合唱の魅力」の三部構成。

第一部は、美里町の小・中学生を中心に編成されたマーチングバンドと吹奏楽の演奏が、観客を魅了。第二部では、地元の音楽家と芸術協会の饗宴によるフルート独奏、ソプラノ独唱、ピアノ6手連弾が披露された。

第三部は、芸術協会を中心とするフェスティバル・オーケストラの演奏と、小牛田混声合唱団、南郷コーラス愛好会に町民

有志が参加した60人以上の合唱団による合唱。聴衆も加わったコンサートが締めくくられた。「花は咲く」「大地讃頌」で、

第36回 ピアノコンクール

芸術協会賞に田村実子さん 受賞者10人、ガラコンサートへ

芸術祭事業の一環となった第36回ピアノコンクールは、2月14日(日)に予選、3月20日(日)に本選が日立システムズホール仙台で行われた。今回から初級、中級、上級がそれぞれA・Bのクラスに細分され、参加対象も高校生まで拡大された。その結果、予選119人、本選56人と、近年にない多くの参加人数となった。入賞者は次のとおり。

【初級A】優秀賞・高橋都羽 橋本果怜、奨励賞・三田村響樹
【初級B】最優秀賞Ⅱ仙台市長賞・長谷川柚紀、優秀賞・阿部遥菜 太田妃乃、奨励賞・中山綺音、作曲者賞・館山日葵
【中級A】最優秀賞Ⅱ宮城県知事賞・安達野々花、優秀賞Ⅱ仙台市教育委員会教育長賞・永倉梨帆、優秀賞・長沼楓、奨励賞・真鍋望咲 小野寺優花
【中級B】最優秀賞 橋本由茉、優秀賞・清藤理乃、奨励賞・斉藤裕大、作曲者賞・滝浦和果

【上級A】最優秀賞Ⅱ宮城県芸術協会賞・田村実子、優秀賞Ⅱ宮城県教育委員会教育長賞・高瀬彩音、優秀賞Ⅱ宮城県文化振興財団賞・前川直央、奨励賞・堀切萌生 伊澤千華、作曲者賞・田村実子 堀切萌生
【上級B】最優秀賞Ⅱ河北新報社賞・池田和音、優秀賞・佐藤優吾、奨励賞・庄子三未

受賞者のうち審査員から推薦された10人(一面に掲載)は、副賞として9月17日(土)のガラコンサートに出場できる。



芸術協会賞を授与する大場理事長

菅原関也参事を悼む

参事 柏原 眠雨



俳句結社 「滝」主宰 菅原関也 さんが2月4日に病で亡くなられた。葬儀にはたくさんの方々が集まり、関也さんの急な死を悼んだ。関也さんは昭和15年に仙台で生まれる。俳人である父・須ヶ原梶子さんの影響で俳句に手を染め、昭和49年に「鷹」に入会、藤田湘子の作風に、強い刺激を受けた。56年に宮城県芸術選奨新人賞、58年には角川俳句賞に輝き、県内若手俳人の第一人者となった。平成3年には岡井省二の「槐」に入会、省二の宗教思想に触発された。4年に「滝」を創刊し、主宰となる。「滝」誌は28年1月号で通刊289号になった。

句集に『祭前』『遠泳』『飛沫』『琥珀』『曲炎』、著書には『宮沢賢治―その人と俳句』『十七音の世界―「滝」の俳句を読む』『鯨のこゑ―「滝」虚実潺々セレクション』『鯨の耳―「滝」の俳句を中心に』。また、宮城県俳句協会顧問、日本伝統俳句協会理事、宮城県現代俳句協会副会長をつとめ、宮城県芸術協会では、ながらく『宮城県文芸年鑑』の編集に携わり、理事を8年間つとめたのち参事になった。さらに、宮城県俳句大会、松島芭蕉祭全国俳句大会、壺の碑全国俳句大会、奥州涌谷金俳句全国大会など、県内の主要な俳句大会の選者をされ、宮城県芸術祭文芸賞や宮城県俳句賞の選者をつとめられ、宮城県の俳句界を担う俳人として活躍された。

大学を出たのちは河北新報社に勤務されていたとのこと、したがって、天才肌の創作力に加えて、企画推進の実行力も豊かであり、県内の諸事情にも通じており、何かにつけ頼り甲斐のある男であった。

折々に電話をかけてよこすのことで、個人的に立ち入った打ち明け話をよくしたのだが、私の著書への好意ある読後感の書かれたファックスが届いたのが、最後の通信となった。ご冥福を祈ってやまない。

平成 28 年度 事業計画

(1) 宮城県芸術祭の開催【公益目的事業1】

本協会を中心とし、宮城県、仙台市、河北新報社、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、公益財団法人宮城県文化振興財団の七団体共催により、本年度で第53回目となる宮城県芸術祭を開催する。期間は9月23日（金）の開会式（会場：せんだいメディアテーク）から11月24日（木）の表彰式（会場：ホテルメトロポリタン仙台）を経て、第37回目の開催となるピアノコンクール本選3月19日（日）までの期間となる。各事業の詳細は次のとおり。

事業種別	事業名	期 日	会 場
展示関係事業	華 道 展	9月23日（金）～9月28日（水）	せんだいメディアテーク5F
	写 真 展	9月23日（金）～9月28日（水）	せんだいメディアテーク5F
	彫 刻 展	9月23日（金）～9月28日（水）	せんだいメディアテーク6F
	絵 画 展	9月30日（金）～10月5日（水）	せんだいメディアテーク5F・6F
	書 道 展	10月7日（金）～10月12日（水）	せんだいメディアテーク5F・6F
	工 芸 展	10月7日（金）～10月12日（水）	せんだいメディアテーク5F
演奏関係事業	音 楽 会	10月8日（土）	日立システムズホール仙台
	長 唄 演 奏 会	10月16日（日）	仙台市民会館
文芸関係事業	文 学 散 歩	9月27日（火）～9月28日（水）	群馬県高崎方面
	「宮城県文芸年鑑」発行	10月15日（土）	800部発行
	文 芸 祭	10月22日（土）	東京エレクトロンホール宮城
茶 会	茶 会	10月9日（日）・16日（日）・23日（日）	輪王寺
巡回展事業	絵画・書道展 富谷展	10月25日（火）～10月30日（日）	成田公民館
人材育成事業	写 真 公 募 展	9月23日（金）～9月28日（水）	せんだいメディアテーク5F
	絵 画 展（公募の部）	9月23日（金）～9月28日（水）	せんだいメディアテーク6F
	彫 刻 公 募 展	9月23日（金）～9月28日（水）	せんだいメディアテーク6F
	ピアノコンクールガラコンサート	9月17日（土）	日立システムズホール仙台
	第37回 ピアノコンクール	予選：2月11日（土）	日立システムズホール仙台
		本選：3月19日（日）	
写 真 セ ミ ナ ー	未定	未定	

※展示関係事業：各展会期中にはギャラリートークや作品解説、作品制作の実演など企画し、実施する。

※人材育成事業：新規事業としてピアノコンクールの受賞者を出演者とする「ピアノコンクールガラコンサート」を実施する。

(2) 芸術文化の振興に関する展覧会、講演会、研究会、発表会などの主催又は後援【公益目的事業2】

多くの県民に本協会の会員による芸術作品や音楽会などを鑑賞する機会の提供及び、芸術文化に関する人材の育成と各分野の幅広い裾野拡大と普及啓発を図ることを目的とし、各事業を次のとおりに実施する。

事業種別	事業名	期 日	会 場
鑑賞機会提供事業	第53回 宮 城 県 芸 術 祭 絵 画 展 受 賞 者 作 品 展	1月中旬	東京エレクトロンホール宮城
	（カメイ美術館共催） 第 8 回 絵 画 作 品 展	1月下旬～3月上旬	カメイ美術館
	みやぎミュージック フェスタ in たいわ	2月19日（日）	大和町まほろばホール
伝統文化体験事業	第20回 杜 の 都 大 茶 会	5月28日（土）・29日（日）	勾当台公園
人材育成事業	県民との美術交流・ ギャラリートーク	10月9日（日）	せんだいメディアテーク
	書道部による県内小中 学校への講師派遣事業	通年	県内小中学校
後 援 事 業	「河北美術展」・「河北書道展」・「河北工芸展」等に賞状及び賞金を提供するなど、本協会に申請のあった作品展や演奏会に対し、後援名義の承認、必要に応じた賞状や賞品等を提供する。（平成27年度承認実績：81件）		

(3) 国内及び国外との芸術文化の交流【公益目的事業3】

国内外の芸術総合文化団体との相互交流とを図ることを目的とし、交流協議及び事業を次のとおりに実施する。

事業種別	事業名	期 日	会 場
東北・北海道芸術文化 団体協議会交流事業	文化講演「日本舞踊との出会い」	6月10日（金）	ラ・プラス青い森
仙台・大邱国際 芸術交流事業	（日・韓国国際交流） 仙台・大邱交流絵画・写真展	7月22日（金）～7月26日（火）	せんだいメディアテーク

※東北・北海道芸術文化団体協議会交流事業：本年度から担当幹事地区は青森県。

※仙台・大邱国際芸術交流事業：本年度は大邱から訪問団を受け入れ事業を実施する。

(4) 会員の資質向上のための研修会等の実施及び調査研究並びに出版物の刊行など【他事業】

本協会会員や多くの県民に参加の機会を提供する各研修事業と、本法人の活動状況等を発信及び会員同士の情報交換を図るための発行物を刊行する事業を次のとおりに実施する。

事業種別	事業名	期 日	会 場 等
会 員 研 修	講演会(講師:高野ムツオ氏)	6月4日(土)	仙台市福祉プラザ
	絵画部スケッチ研修会	6月11日(土)・12日(日)	秋田県小坂町・青森県奥入瀬方面
	書道部研修会	10月9日(日)	せんだいメディアテーク
	第43回研修旅行	未定	未定
発 行	機関紙「はなやま」発行	年4回発行(4・7・11・1月)	
	「会員名簿」発行	7月頃	

平成28年度正味財産増減予算書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

科目	公益目的事業会計					収益事業等会計	法人会計	合計
	公1	公2	公3	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	2,000	2,000	0	0	2,000
受取入金	0	0	0	950,000	950,000	0	950,000	1,900,000
受取会費	0	0	0	11,685,000	11,685,000	2,788,891	7,996,109	22,470,000
事業収益	7,422,000	87,000	1,100,000	0	8,609,000	5,980,000	0	14,589,000
受取補助金等	200,000	0	200,000	0	400,000	0	0	400,000
受取負担金	13,202,000	0	0	0	13,202,000	0	0	13,202,000
受取寄付金	115,000	0	0	0	115,000	0	0	115,000
雑収益	240,000	0	0	0	240,000	0	20,000	260,000
経常収益計	21,179,000	87,000	1,300,000	12,637,000	35,203,000	8,768,891	8,966,109	52,938,000
(2) 経常費用								
事業費	28,979,247	2,396,462	4,245,400	0	35,621,109	8,768,891	0	44,390,000
管理費	0	0	0	0	0	0	8,335,000	8,335,000
経常費用計	28,979,247	2,396,462	4,245,400	0	35,621,109	8,768,891	8,335,000	52,725,000
当期経常増減額	△7,800,247	△2,309,462	△2,945,400	12,637,000	△418,109	0	631,109	213,000
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	7,800,247	2,309,462	2,945,400	△12,424,000	631,109	0	△631,109	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	213,000	213,000	0	0	213,000
一般正味財産期首残高	0	0	0	44,364,700	44,364,700	0	0	44,364,700
一般正味財産期末残高	0	0	0	44,577,700	44,577,700	0	0	44,577,700
II 指定正味財産増減の部								
一般指定財産への振替額	△30,000	0	0	0	△30,000	0	0	△30,000
当期指定正味財産増減額	△30,000	0	0	0	△30,000	0	0	△30,000
指定正味財産期首残高	190,000	0	0	0	190,000	0	0	190,000
指定正味財産期末残高	160,000	0	0	0	160,000	0	0	160,000
III 正味財産期末残高	160,000	0	0	44,577,700	44,737,700	0	0	44,737,700

事務局日誌

会務報告

- 1・15 部長会議
- 平成28年度予算について
- 各部からの理事候補者の推薦について
- 2・5 芸術祭展示部門代表者会議
- 第53回宮城県芸術祭の主な日程について
- せんだいメディアテーク会場の割り振りについて
- 第53回芸術祭の計画と協会への要望等について
- 宮城県教育委員会教育長新人賞について
- 巡回展について
- 3・18 理事会

- 平成28年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
- 新入会員(正会員)の承認について
- 賛助会員の推薦について

後援

- ☆千田秀子絵画展
- 3月5日～13日
- 美里町近代文学館
- ☆東日本大震災復興支援遊佐聖心・佐々木定行二人展 陶芸と書印の世界(花・華)
- 3月11日～20日
- 栗駒みちのく伝創館
- ☆オペラ「祈りの名場面」& オペラ「ジャンニ・スキッキ」
- 4月9日
- 宮城野区文化センター
- ☆第43回仙台女流美術協会徳島絆

事務局から

◆会費納入のお願い

新年度を迎えましたので、平成28年度会費の納入をお願い致します。自動振替の会員は、今年5月2日が引き落とし日となりますので、指定口座をご確認願います。郵便振替をご利用の会員は、同封の振替用紙で5月31日までに納入願います。

◆会員名簿の発行について

隔年発行の当協会会員名簿は、6月30日付で「平

成28年版」を発行いたします。記載事項に変更のある会員及びプライバシー保護の観点から住所や電話番号掲載の辞退をご希望の会員は、5月末日までに事務局に連絡願います。辞退者は所属部門と氏名のみの掲載となります(前回辞退の方で今回も同様の場合、連絡は不要です)。

また、名簿には広告を掲載しております。ご希望があれば事務局までご連絡下さい。各部門が関係する企業・店舗等の紹介にもご協力願います。料金は一ページで3万5千円、2分の1ページで1万4千円、5分の1ページで7千円です。

- グループ展
- 4月15日～20日
- せんだいメディアアテーク
- ☆第7回書学社現代書展
- 4月20日～24日
- 塩竈市杉村惇美術館
- ☆村上世一作陶展
- 4月22日～5月1日
- 美里町近代文学館
- ☆第15回「夢・楽描き展」
- 5月13日～18日
- せんだいメディアアテーク
- ☆第46回宮城書芸院書展
- 5月18日～22日
- 大崎市民ギャラリー緒絶の館
- ☆第62回全国公募東北書道展
- 5月20日～25日
- せんだいメディアアテーク
- ☆並木路・けやき・合同展 2016
- 5月20日～25日
- せんだいメディアアテーク
- ☆蓮紅社書展
- 5月20日～23日
- せんだいメディアアテーク
- ☆第2回二科東北支部連合展
- 5月27日～6月1日
- せんだいメディアアテーク
- ☆仙台ピアノデュオの会第18回コンサート
- 6月1日
- イズミティ21
- ☆高野芳月篆刻・書展
- 6月9日～15日
- せんだいメディアアテーク
- ☆第68回三軌展東北展
- 6月10日～15日
- せんだいメディアアテーク
- ☆第23回二科会写真部宮城支部展
- 7月1日～6日
- せんだいメディアアテーク
- ☆チャールズ会仙台創立50周年記念「第51回チャールズ会仙台展」
- 7月8日～13日
- せんだいメディアアテーク
- ☆第51回蔵王写生会展
- 7月8日～13日
- せんだいメディアアテーク

- ☆第5回全国やきものフェア inみやぎ
- 7月14日～18日
- 夢メッセみやぎ
- ◇改組第2回日展
- 第4科(工芸美術)▽入選Ⅱ(陶芸) 浅井裕子、水無瀬守、小川和子(七宝) 川北京子(染織) 平澤富子

受贈書

- 詩集 湾Ⅲ 2011～14(千田基嗣)、歌集 誰彼(原田夏子)、句集 存在乃家Ⅳ(岩田諒)、句集 息吹(浅沼真規子)、柳絮舞う(茂堂久)、すずかけ第五十集(松本ムネ子)

謹 弔

文芸部 (俳句)	松岡きよ殿	12月27日
絵画部 (洋画)	壱岐嗣子殿	1月25日
写真部	佐々木郁文殿	1月25日
書道部	高橋素光殿	1月26日
文芸部 (俳句)	菅原関也殿	2月4日
写真部	庄司喜雄殿	2月5日
書道部	村上禎山殿	2月12日
茶道部 (表千家)	菅野宗正殿	2月29日
文芸部 (短歌)	武藤忠雄殿	3月12日
写真部	小野寺亨殿	3月31日
書道部	高橋小汀殿	4月4日

けやきの譜

間もなく、青葉の候を迎える。

仙台も一年中で一番いい季節だが、それに逆らうようなニュー

スが多過ぎはしないだろうか。殺人、いじめ、虐待。国会も

センセイ方の不倫や相次ぐ舌禍で騒々しい▼スポーツ界ではバ

ドミンゴンのトップ選手の違法カジノ店での賭博、プロ野球巨

人の4選手の野球賭博、元一流スラッガーの覚醒剤使用と、い

やな事件が次々摘発された▼こ

んなときこそ芸術・文化の出番

ではないだろうか。大震災から

3ヶ月後、仙台で全日本川柳大

会が開かれた折の雫石隆子大会

実行委員長(県芸術協会執行理

事)のあいさつは、今も語り草

になっている。「私たちは言葉の

力を信じる。川柳の言葉の力は、

必ず復興の力になると信じる」

▼九州の熊本などが大地震で大

被害を受けている。4月14日夜

の震度7の「前震」に続く16日

未明の「本震」も震度7、マグ

ニチュード(M)7.3。以後もひつ

きりなしに強い揺れが続いてい

る。長期戦を強いられるだろう

が、私たちが力にならなければ、

と思う。(恂)